

学びにアクセスできない児童生徒をゼロにすることを目指して

R7.4.Ver

令和5年度の大分市立小中学校の不登校児童生徒は、前年度より**256人増加**し**1,665人**となり、小学校は43人に一人、中学校は12人に一人が不登校の状態となっていたが、各学校の取組の結果、令和6年度は、小学校が**57人増加**し643人となり、39人に一人、中学校は**98人減少**し981人となり、13人に一人、合計**41人減少**し**1,624人**（暫定値）となった。また、学校内外の専門機関等で相談・指導を受けていない児童生徒は、令和4年度の不登校児童生徒数の**約3割**であったが、令和5年度には**約2割**に減少した。

安心して学べる 魅力ある学校づくり

★「スロースタートプログラム」による負担軽減

- ・学期始めの授業時数の軽減や授業進度の工夫
- ・学校行事の見直し
- ・中1部活動入部時期等の変更 など

★「大分市不登校対応マニュアル」の改訂と

教職員への周知徹底

★「学校いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめへの対応の強化

●小中学校間の系統性を踏まえた連携強化

●「人間関係づくりプログラム」の計画的な実施



小さなSOSの早期発見と対応

★一人1台端末を活用した「心の健康観察」の調査研究

★大分市教育センター等、教育相談窓口の周知徹底

●学級集団検査(hyper-QU)の結果を踏まえた児童生徒理解と教育相談

●スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家による支援とアドバイス

●子ども家庭支援センターや児童相談所等の関係機関との連携強化

●校内不登校対策会議の定期的な開催

●保護者への支援と連携



多様な学びの場の確保

★校内教育支援ルームの設置と活用

★スクールライフサポーターの配置拡充と小学校との連携による支援の充実

★ICTを活用した支援

・一人1台端末を活用した学習支援（ロイロノート、デジタルドリル等）

・オンライン授業の配信

・メタバースを活用した支援

●大分市教育センター内の教育支援教室（フレンドリールーム）やおでかけフレンドリールームの利用促進

●メンタルフレンド（大学生による訪問）の活用

●「学びの多様化学校」に関する調査研究

●フリースクール等、民間施設との連携

●地域の団体やボランティアによる支援



★…新規の取組 ●…継続した取組